

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	岡田 健志	実務経験と その関連資格				
<b>《授業科目における学習内容》</b> 生理学では、ヒトの健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。目標としては、柔道整復師を目指す学生に人体の生命現象の機序(生理機能)に関する基礎医学的知識を修得させる。生理学基礎(細胞生理学など)、植物性生理学(血液、骨、循環、呼吸、消化吸收、排泄、内分泌など)、動物性生理学(筋肉、神経、感覚、高次神経活動など)の順で講義を進み、ヒトの正常な生理機能(必要に応じて病態生理を交える)を解説する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 期末試験にて記述試験を行なう。 その得点(100点満点中60点以上合格)で評価します。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 生理学改訂第4版. 株式会社南江堂						
<b>《授業外における学習方法》</b> 解剖学的構造の理解と併せて生理学の対象項の確認をすること。図書室での参考図書の閲覧が必要になる場合もある。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 講義前及び講義後に教科書を読んでおくこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する①		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	血液の役割、血液の組成、免疫機能 小テスト				
第2回	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する②		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	血液の役割、血液の組成、免疫機能 小テスト				
第3回	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する③		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	血液の役割、血液の組成、免疫機能 小テスト				
第4回	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する④		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	血液型、血液の凝固 小テスト				
第5回	授業を通じての到達目標	血液の生理学について理解する⑤		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと	
	各コマにおける授業予定	血液型、血液の凝固 小テスト				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	骨の構造、形成と成長、骨の再吸収再形成、カルシウム代謝とリン代謝、ビタミンD、上皮小体ホルモン、カルシトニン 骨の病気(骨粗鬆症) 小テスト			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	骨の構造、形成と成長、骨の再吸収再形成、カルシウム代謝とリン代謝、ビタミンD、上皮小体ホルモン、カルシトニン 骨の病気(骨粗鬆症) 小テスト			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	体液の区分とバランス、体液のイオン組成 体液の恒常性を維持するしくみ: 体液浸透圧と体液量の調節、体液Na量と体液量、体液酸塩基平衡の調節 小テスト			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	心臓の機能: 心臓の構造、心筋の基本的性質、心電図、心臓のポンプ機能 小テスト			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	血管系: 各血管の構造、血圧、リンパ管系、循環の調節(神経性調節) 小テスト			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する④	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	血管系: 循環の調節(体液性調節、局所性調節)、局所循環(冠循環) 小テスト			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環の生理学について理解する⑤	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	血管系: 局所循環(脳、肺、皮膚、骨格筋の循環)、脳脊髄液循環 小テスト			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の生理学について理解する①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	呼吸器の機能的構造、換気(換気の仕組み) 換気(肺胞内圧と胸膜腔内圧、換気量・残気量) 小テスト			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の生理学について理解する②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	換気(肺胞換気量と死腔、呼吸のための仕事)、ガス交換 血液中の酸素、二酸化炭素の運搬、呼吸を調節するしくみ 小テスト			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸の生理学について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義後の復習と次回講義の予習をしておくこと
	各コマにおける授業予定	呼吸異常、特殊環境下の呼吸、人工呼吸 小テスト			

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	岡田 健志	実務経験と その関連資格				
<b>《授業科目における学習内容》</b> 生理学では、ヒトの健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。目標としては、柔道整復師を目指す学生に人体の生命現象の機序(生理機能)に関する基礎医学的知識を修得させる。生理学基礎(細胞生理学など)、植物性生理学(血液、骨、循環、呼吸、消化吸收、排泄、内分泌など)、動物性生理学(筋肉、神経、感覚、高次神経活動など)の順で講義を進み、ヒトの正常な生理機能(必要に応じて病態生理を交える)を解説する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 期末試験にて記述試験を行なう。 その得点(100点満点中60点以上合格)で評価します。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> 生理学改訂第4版. 株式会社南江堂						
<b>《授業外における学習方法》</b> 解剖学的構造の理解と併せて生理学の対象項の確認をすること。図書室での参考図書の閲覧が必要になる場合もある。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 講義前及び講義後に教科書を読んでおくこと						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	尿の生成と排泄について、理解する①		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	腎の構造と機能、糸球体濾過 小テスト				
第17回	授業を通じての到達目標	尿の生成と排泄について、理解する②		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	尿細管における再吸収(Na、水、グルコース)と分泌、、排尿 小テスト				
第18回	授業を通じての到達目標	尿の生成と排泄について、理解する③		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	尿細管における再吸収(Na、水、グルコース)と分泌、、排尿 小テスト				
第19回	授業を通じての到達目標	栄養と代謝について理解する①		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	代謝 小テスト				
第20回	授業を通じての到達目標	栄養と代謝について理解する②		生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること	
	各コマにおける授業予定	中間代謝、エネルギー代謝 小テスト				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と代謝について理解する③	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	中間代謝、エネルギー代謝 小テスト		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液(唾液、胃液)の分泌機序、消化(糖質、蛋白質、脂質の消化)吸収(糖質、蛋白質、脂質の吸収)、消化管ホルモン、肝臓と胆道系 小テスト		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液(唾液、胃液)の分泌機序、消化(糖質、蛋白質、脂質の消化)吸収(糖質、蛋白質、脂質の吸収)、消化管ホルモン、肝臓と胆道系 小テスト		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液(唾液、胃液)の分泌機序、消化(糖質、蛋白質、脂質の消化)吸収(糖質、蛋白質、脂質の吸収)、消化管ホルモン、肝臓と胆道系 小テスト		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液(唾液、胃液)の分泌機序、消化(糖質、蛋白質、脂質の消化)吸収(糖質、蛋白質、脂質の吸収)、消化管ホルモン、肝臓と胆道系 小テスト		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化と吸収について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	消化液(唾液、胃液)の分泌機序、消化(糖質、蛋白質、脂質の消化)吸収(糖質、蛋白質、脂質の吸収)、消化管ホルモン、肝臓と胆道系 小テスト		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温とその調節について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	体温の生理的変動、熱の産生 小テスト		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温とその調節について理解する	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	講義の復習と次回講義の予習をすること
		各コマにおける授業予定	熱放散、調節、発熱、馴化 小テスト		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ①	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	後期講義の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	総復習、国家試験問題演習		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ②	生理学改訂第4版 配布資料 PC、プロジェクター	後期全講義の学生の理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	総復習、国家試験問題演習		